音樂新聞

一部三錢（一月一回發行）送料二錢
六ケ月　三〇錢　送料共
一ケ年　五五錢　送料共
發行所　東京市外上戸塚七四三
日本プロレタリア音樂家同盟內
音樂新聞編輯局
同所
發行編輯印刷人　福田上一

八・一を目指して全國に反戰鬪爭の嵐をまき起せ！

八月一日！　この日は我々にとつてどう云ふ日か諸君は知つてゐるか。八月一日、反戰デー

この日こそ全世界の我々の仲間が高らかに帝國主義戰爭反對の叫び聲を轟かせる日だ。

上海事件、滿蒙事變の記事は新聞から姿を消した、そして「上海停戰會議」に於ける平和締結によつて終りを遂げたやうに見せてゐる。勿論戰爭はこの儘終つたのではない、終つたのでないどころかソヴエート同盟攻撃戰爭の**危險**を充分にはらんでゐる

「上海停戰會議」によつて上海の軍事的勢力を滿洲へ、更にソヴエート同盟攻撃に集中しやうとしてゐるし、「軍縮會議」に於いて日本の代表は「安全保障條約」の名の下に中國再分割とソヴエート同盟攻撃の共同戰線を約束しやうとしてゐる。ブル新聞さへ、日本軍撤收の後に列國の軍艦が揚子江を上下し、派遣される陸戰隊が增大した事を報じてゐる。又中國國民黨は妥協――停戰によつてその力を今度は中國革命壓殺に集中して暴威を振るつてゐる。

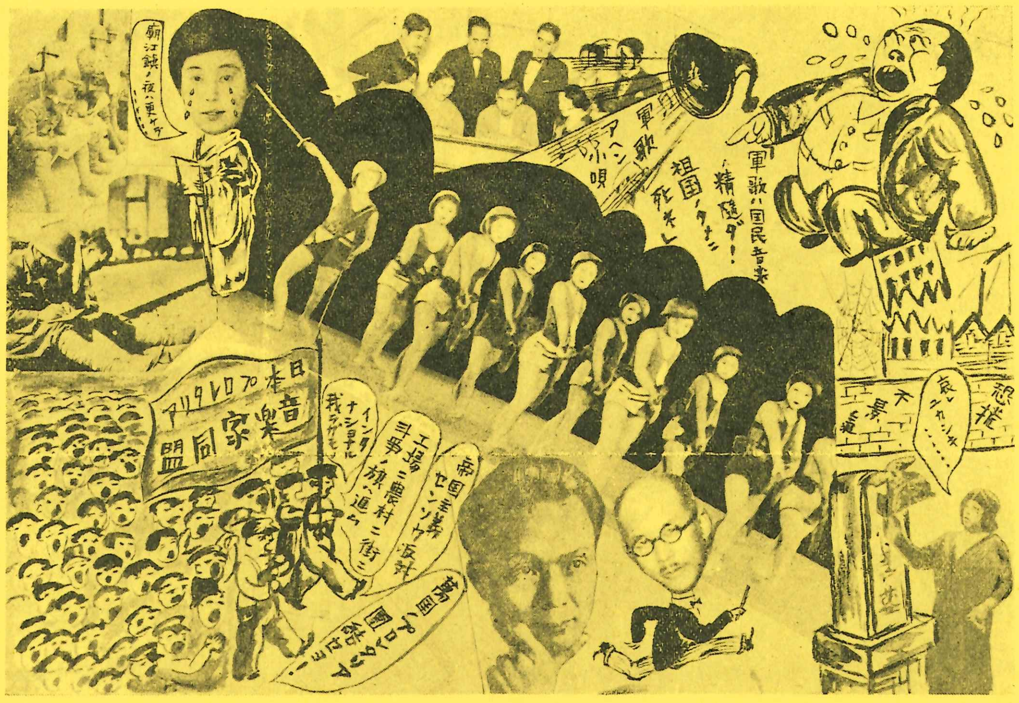
そして上海から北滿へ送られた日本軍の大部分は更に「馬占山」「反吉林軍」を追つてソヴエート同盟の國境に向つて進ませられつゝある。これらの事實を後にしてほんの少しの軍隊が歸るのを「凱旋だ〳〵だ」と騷ぎまわり、資本家地主階級のホントの考へを國民に知らせないやうにゴマカシをやつてゐるのだ。ソヴエート同盟の陰謀などとデカ〳〵逆宣傳をし、それと結び付けて巧みに**攻撃**を開始しつゝあるのだ

仕事の暇に

（右）赤衞軍兵士のバラヽイカ演奏
（左）農村青年の手風琴演奏

Sowjetunion

現代樂壇展望



鞆江鎮ノ夜ハ更ケテ
軍歌
アヘン小唄
軍歌ハ国民音楽ノ精随ダ！祖国ノタメニ死ネヨ
日本プロレタリア音楽家同盟
インタナショナルニ
工場ニ農村ニ街ニ斗争ノ旗ハ進ム
帝国主義センソウ反対
萬国ノプロレタリア団結セヨ！

そして國內に於いても我々をとりまく事實は、五、一五事件農民決死隊、ファシスト的擧國一致內閣、農民救濟請願運動、赤松、下中等のファシスト政黨の樹立、等々ブルヂョア支配の急激なファッショ化の進行を示してゐる。世の中は不景氣になるばかり、勞働者農民大衆の生活も益々惡くなるばかり、ファシズムの擡頭は勞働者農民大衆の革命的昂揚を求めてゐる。支配階級のよき使徒ファシスト、社會ファシスト共は僞瞞的な救濟、政策を掲げてファッショの基礎を固めてゐる。

音樂新聞讀者諸君！

滿蒙事變が盛んだつた頃、資本家地主階級及びその手先き共は戰爭が濟めば景氣がよくなると言つて來た。けれどもこの事變で利益のあつたのは一體誰なんだ、戰爭は決して勞働者農民大衆にとつてその生活をより好くするものではなかつた。それどころか益々惡くなつて來てるのは諸君ら自身がよく知つてゐるだらう。奴らのねらつてゐるソヴエート同盟には失業する心配もないし、工場だつて設備がいゝし、俺たちのやうに資本家地主階級にしぼられてゐる國ではほとんど望めない俺たちの**欲求**も充分にとげられてゐるのだ。つまりソヴエート同盟は我々の樣な苦しい生活をよくする爲に鬪つて來、今では立派な勞働者農民の國としてほんとに平和な暮しを立てゝゐる仲間なのだ。そこでは他の資本家地主の國より豐かな產業を營むことさへ出來るやうになつたのだ。そこで資本家地主政府の列國は自分達の滅びて行くのを何とかして食ひとめやうとしてソヴエート同盟攻撃に目をつけたのだ。ソヴエート同盟の仲間を平氣で資本家地主階級の銃火の下にさらす事が出來るか。我々はあくまでもソヴエート同盟攻撃戰爭に反對しなければならない。

資本家地主階級は又奴らの文化をも戰爭鼓吹のために、大衆の革命化を阻止するために役立たせる事を決して忘れてはゐない。最近のラヂオ放送には必ず戰爭鼓吹の音樂が仕組まれてゐるし、あらゆる會社の賣出しレコード中には多くの戰爭謳歌の軍歌、軍樂隊、それでなければ無意味な流行小唄があり、小學兒童にさへも軍歌の强要を遂行してゐる。社會ファシスト共の作つた勞農文化聯盟に巢食ふ音樂家は音樂によつて大衆にファッショの影響を深めやうとしてゐる。そして我々の上にはあくなき狂暴な**彈壓**を以つてその大衆の中へ入る事を妨害してゐる。

八月一日、反戰デー、前にのべたやうなソヴエート同盟攻撃の危險を前にしての八月一日、この日こそ我々が帝國主義戰爭反對、ソヴエート同盟及び中國ソヴエート防衞の決意を大衆的に示さなければならない日だ。

音樂新聞讀者諸君！

諸君は直ちに職場の中で起つた出來事と結び付けて戰爭が我々にとつてどう云ふものか、そしてその爲に資本家地主階級はラヂオやレコードをどんなに利用してゐるか、奴らに操られてゐるファシスト、社會ファシストの活動、組織はどんなインチキなものか等の具體的な曝露にとりかゝらなければならない。そしてコップに下された暴壓も戰爭遂行の同じ一環の中にある事を說明し、一人でも多く仲間を增す事に努めなければならない。そして反戰、反ファシズムの作詩、作曲とそれらの大衆化によつて鬪はねばならない。諸君の中から作品を送れ。最後にそれらの活動を通じて八、一デーの大衆行動を鬪へ。

P・M第二回全國大會開かる！

七月十日、プロキノ事務所に於いて、プロレタリア音樂家同盟の全國大會を開催した。準備の都合で一週間日延べされ、會場も急に變更された爲サークル及び一般の勞農大衆の動員がきかなかつた。其ことは非常に殘念だが、實質的な活動が急速に展開される爲に多少の條件の惡さは押し切らねばならなかつた。會場を完全にとりまいた官犬も總立ちに緊張した空氣の中に、開會後一分にして解散、委員長その他、勇敢に音樂同盟の萬歲を叫び四名の檢束者を出した。

全ソヴエート聯邦の「音樂オリムピアーダ」

出演者一萬を動員してAPMの活躍

ブルジョア・スポーツの世界オリムピック大會に對抗して、ソヴエートではプロレタリヤスポーツの盛大なオリムピアードが開催されるが、それは單にスポーツだけでなく凡ゆる文化藝術の分野に亘つて最も盛んに行はれる。

一九三〇年六月十五日から七月十日までモスクワで催された第一回ソヴエート聯邦藝術オリムピアーダは十八の各民族を代表する劇團、十の民衆劇團併びに九つの代表的映畫會社が參加し、一千餘人の出演者が動員されてソヴエートでなくてはみられない盛觀を呈した。

音樂の分野に於ては、更に古く一九二二年に最初の大合同音樂會がレニングラードで開催されたのを第一回として年々素晴らしい進展を示してゐる。ソヴエートの人民文教委員會は「音樂の大衆化」――「大衆の音樂化」のために全力を傾倒して來たので、今や音樂は勞働者の手にプロレタリヤの手に完全に取り戻される樣になり、勞働者や農民やピオニールや赤衞軍の中に職業音樂家に少しも劣らぬ技術を持つた大合唱團、合奏團歌劇團が無數に組織されてゐる。幾組かの婦人勞働者だけの吹奏樂團さへ出來てゐる。

最初の大合同音樂會には千二百人のメンバーを持つ勞働者合唱團が編成され、グリンカ、ダルゴミユズスキー、チャイコフスキー等の合唱曲が立派に唱はれた。一九二三年には同じくレニングラードで千七百人の勞働者合唱隊が更に見事な成果を收めた。

一九二七年、革命十週年記念の七月十三日にはこれがいよいよ全ソヴエート音樂オリンピアードとして擧行され、六千人の出演者と五萬人の聽衆とを以て未曾有の壯觀を呈したのである。

この第一回音樂オリムピアーダに出場した代表音樂團は、各地方に於ける豫選競演會で多數の中から選ばれた主として民族樂器合奏團、合唱團、吹奏樂團から成るもので、みなすばらしい技術を持つてゐる。このオリムピアーダに於て最優秀のものとして擧げられたのはウエ・キプリヤノフの指揮するバラ、イカ系の樂器を中心とした大ロシヤ・オーケストラとニエムツエフの指揮する吹奏樂伴樂の合唱團、エヌ・ミツケル及びチャバンの指揮する吹奏樂團だ。

第三のオーケストラーでは日本でも親しまれてゐる「俺は鍛冶屋」「カルメン」「林檎の樹の下」等が演奏され、第二の合唱團では「太陽の讃歌」「俺は鍛冶屋」「土曜日は天氣がわるい」等、第三の吹奏樂團では序曲「勞働者と農夫」「リエンチ」（ワグネル）「白鳥の湖」がやられ、更に全ブラスバンドの合同演奏としてオペラ「ログニエダ」中の「娘達の歌舞」及びヘンリオンの行進曲が吹奏された。そして最後に三千人の合唱者を中心に當日出演した凡ての吹奏樂團の伴奏によつて「ヴォルガの船唄」「吾等醒めぬ」が合唱され、出場全員六千人によつて「インタナショナル」が高らかに唱はれて第一回オリムピアーダは終つた。

同年の秋、全ソヴエートに最も盛大に擧行された十週年記念祝賀祭典にはレンニングラードの野外大競技場で、五千人の大合唱團、千八百人の大ロシヤオーケストラ、二千人のブラスバンド三百人のマンドリン・オーケストラが出場した。

今年（一九三二）の秋には全ソヴエートを通じて革命十五週年祝賀が擧行されるが、既に昨年の春から夏にかけて音樂オリムピアーダの地方豫選が一齊に行はれ、ハリコフで開催されたウクライナ地方の豫選などは非常な好記錄を殘した。

これらの音樂オリムピアーダの擧行に當つては、專門家及び勞働者の中から組織委員が選ばれ、審査委員も組織される。大會に對する具體的指導には全共和國に組織されたAPMが當り更に各共和國のAPMを統制するRAPM（ロシヤ・プロレタリヤ音樂家協會）があつて、プロ作曲家ダヴイデンコ、コーリ、シェフテン、批評家リエベデンスキー等を中心として構成されてゐる。各共和國のAPMは昨年レニングラードに第一回總會を開いて、創作並に編曲に依つて全ソヴエートのプロレタリアートにどんな歌曲、どんな樂曲を提供し、演奏法をどういふ風に指導するかに就て討議した。

ソヴエートの音樂オリムピアーダは。どこ迄も勞働者農民のものだ。職業的な專門音樂家の競演場としてではなく、集團的に充分に訓練された數千の勞働者音樂家達が、數萬の聽衆に唱ひかける他のどこの國にも絕對にみられない巨大な藝術市場であるのだ。（完）

P.Mレコード

三號が出來たぞ！
即時前金で申込め！
四部合唱　芝浦
赤衞軍歌　鐘が鳴れば
一枚　九〇錢　送料　內地　二〇錢
滿鮮臺　六〇錢
申込所
東京市外上戸塚七四三
日本プロレタリア音樂家同盟

大阪支部第二回音樂會を前に
大彈壓下る
――九月十一日、土佐堀會館へ押し掛けろ――

七月三日に催される筈であつた大阪地方支部主催のプロレタリア大音樂會は、大會まぎはの支部に對する不當な彈壓によつて延期のやむなきに至つた。支配階級は戰爭とファシズムの強行と同時にお話にならない樣な狂暴振りを發揮してゐるのだ。第一回音樂會以來その準備に全く血の出る樣な闘爭を續けて來て、たゞ七月三日を待つばかりになつて、全員が事務所で猛練習をやつてゐた六月二十日夜、同夜二階で持たれてゐた勞農救援會擴大委員會を突然おそつた三十餘名の官犬によつて不當にも練習中の同盟員四名（內婦人二名）を檢束し、音樂會のためのポスター、ビラ練習用樂譜、資料、壁新聞までも強奪されたのだ。我々はそのためビラポスター等の準備を始めからやりなほさねばならないのだ。

この事はソヴエート攻擊戰爭を始めやうとし、國內にはファッショを橫行せしめる資本家地主階級の我々に向けた砲火の一片なのだ。勞働者農民大衆の文化的欲求を踏みにぢつて正しい發展を妨害してゐるのだ、さうしなければ資本家地主階級は搾取をひどくし、戰爭を斷行することが出來ないのだ。

だがあらゆる攻擊にも拘らず大阪地方支部は勇敢に戰つてゐる。たゞ財政的に強く打擊を受けた。この事は諸君自身の問題だ、諸君以外に誰が音樂會を守る事が出來るか。九月十一日には仲間をさそつて土佐堀青年會館へ押しかけやう。基金を送つて我々の音樂會を、大阪地方支部を守らう。

工場、農村、兵營から
反戰闘爭のレポを送れ！

反動文化、ファシズム文化、戰爭音樂等々至る所にソヴエート同盟攻擊戰爭遂行の政策をそのまゝに大衆を戰爭へ戰爭へと驅りたてゝゐる。然も戰爭が大衆の利益になるかのやうに言ひふらしながら、その實資本家地主階級の恐慌切り拔け策でしかない。勞働者農民は一層惡い勞働條件で失業と飢ゑの不安の中に追ひこまれるのだ。

六月十九日のコップ擴大中央協議會は「反戰文化闘爭週間」として七月一日から八・一デーまでを精力的に闘ふことを決議した。これは又コップ加盟各團體參加の革命競爭の最後の一ヶ月として集中的に戰爭反對のための文化闘爭を敢行することの決議なのだ。我が日本プロレタリア音樂家同盟も第二回全國大會を終へ、結集した力を以つてこの闘爭を進めつゝある。戰爭反對の歌の創作、そのためのオペレッタの計畫、そしてそれらの歌曲を集めて端書版の反戰歌曲集の出版の計畫が進んでゐる。

東京地方ではP、M合唱隊はプロット加盟の自立劇團と共に各地區の寄席や會館に一週間の巡廻小公演を持つ。

諸君も又今次の戰爭が我々にとつて何う云ふ意味を持つてゐるかを知つてゐる、戰爭に反對しなければならない事も知つてゐるだらう。諸君は工場から、農村から、兵營からこの反戰文化闘爭に參加しなければならない。諸君の生々しいペンによる反戰歌の作詩、作曲、通信こそこの闘爭を眞に生かすものである。諸君のまわりの事實をそのまゝ書き現せばいゝ、この活動を組織的に大衆的に展開しなければならない。全諸君は音新通信員になれ！ この事もファッショ音樂との闘爭の一つなのだ。

日本に於ける
プロレタリア音樂運動の生ひ立ち

日本のプロレタリア音樂運動の芽生えは何時か。インタナショナル、赤旗の歌、青年同盟の歌が日本語に飜譯され、メーデー歌がつくられたのは何時だつたとはつきり云ふ事は出來ない。これ等の歌は全國到る所、大衆の中に深く侵透してゐる。あらゆるストライキに、あらゆるデモに、勞働者農民の血潮を湧き立たしたのはこれ等の歌だ。プロレタリアートの革命的な歷史を經たこれ等の歌は、勞働者農民によつて次から次へと傳へられた。

日本のプロレタリアートが次第にその力を集めて、始めて支配權力の打倒のために自分の政黨を打ちたてる事を問題にしはじめたのは一九二六年であつた丁度濱松樂器爭議勃發の年である。政黨は當時まだ正しい解決には致らなかつたが全國的キボに於けるプロレタリアートの大衆新聞は同年を期して發行された。それが無產者新聞であつた。當時新聞はその影響を大衆の間にひろめるために芝協調會館で第一回「無產者の夕」を催した。そこに始めて關鑑子が登場したのである。「インタナショナル」「くるめくわだち」等が聽衆の熱狂的歡喜の中に獨唱された。これが日本に於けるプロレタリアートを對照にした最初の音樂演奏であつた。「無產者の夕」は大きな効果を持つた。これを期してプロレタリア音樂の問題が勞働者農民によつて問題にされ始めた。

プロレタリア音樂の問題が組織的にとりあげられたのは一九二八年で、當時の最も左翼的藝術團體日本プロレタリア藝術聯盟（プロ藝）と前衛藝術同盟（前藝）とによつてゞあつた。だがこの二つの藝術團體の音樂部は非常に異つた特長を持つてゐた。前藝音樂部は重に技術者のグループで技術の完成を目標とし、街頭的な方向へむかつてゐた。この中には四家文子、守田正義等がゐた。プロ藝音樂部は關鑑子を講師とする合唱團で技術は非常にひくかつたが大衆の中へ方向をとつて進んでゐた。

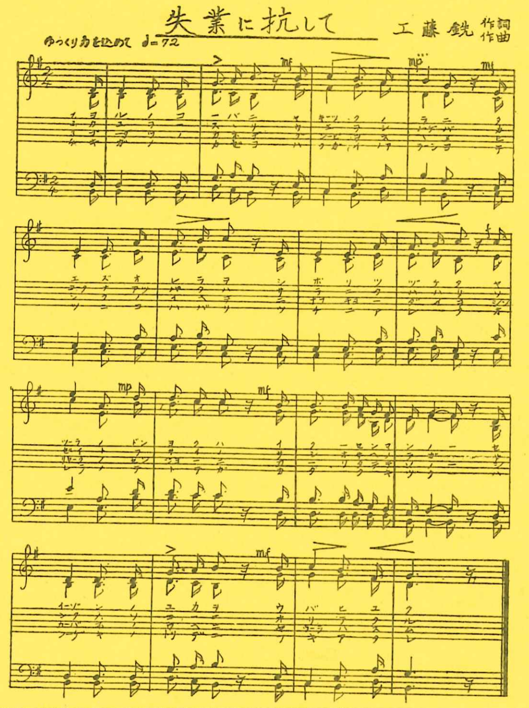
「にくしみのるつぼ」「開け行く歷史」「俺はカヂャ」はロシアから送られた曲に當時のプロ藝文學部の中野重治、鹿地亘によつて作詩され、この合唱團から大衆の中へ流布して行つたのである。これ等の歌は國民新聞社講堂に催された「プロレタリア文學講演會」にはじめて合唱されこの時からレーニンに愛唱された「にくしみのるつぼ」はまた日本の勞働者農民によつて愛唱されるものとなつた。これ等の歌はプロ藝音樂部によつてプロレタリアートの戰ひの歌としてまとめらが、大衆の中にプロレタリア歌曲集として送り出されたプロ藝音樂部はやく三ヶ月の短い期間にすべてこれ等の活動をなしたのである。

一九二八年、日本の黨は福本主義的セクト主義を清算して大衆の面前に、大衆黨として公然とすがたを表わした。黨のセクト主義濟算は、分散した諸藝術團體を統一の氣運に向はしめたのである。日本のプロレタリアートにとつて忘れる事の出來ない一九二八・三・一五事件直後前藝プロ藝は合同し、ナップを成立させた。兩團體の音樂部は一緒になり日本プロレタリア音樂家同盟が成立した。

然しながら技術者の意見が強く反影して、プロ藝音樂部の持つ正しい大衆への方向が押しかくされた。音樂家同盟は技術のない者を同盟から切りはなし、少數の音樂家のグループに固まつた。このグループは理論研究のため、書齋に引籠もつてしまつた。一面には、ナップ結成と共に弱い團體が無經驗のまゝ獨立したといふことのため、同盟員は分散して、日本プロレタリア音樂家同盟は有名無實の團體として大衆の面前からすがたを消してしまつたのである。音樂家同盟は丸二年間何等の仕事をしないで消えてゐた。

然しこの二年の間、プロレタリア音樂運動の歷史は進展してゐた。一九二九年、三・一五の歌が中野重治、佐藤武夫によつて作詩され戰旗紙上に日本プロレタリア音樂家同盟として發表された事は特筆すべきである。

音樂家同盟再建の問題が具體的に問題にされたのは一九三〇年二月であつた。現在の日本プロレタリア音樂家同盟はこの時新しく誕生したのである（續く）



俺達の前衛は勇敢に
公判廷で闘つてゐる

支那滿洲を舞臺の戰爭を初めてから一年近くにもなるがまだ止まない、それどころか、軍隊はどん〱滿洲へ送られてゐるし、國內ではあらゆる重要工場が軍需工場になり晝夜兼行で勞働者をシボッテゐる、ソヴエート攻擊戰爭は初まつてゐるのだ失業者五百萬の日本、勞働者農民がどん〱飢死して行くのに奴等は何等の救濟法もなさうとしないのだ。

否なし得ないのだ、社會民主々義者やファッショ共は戰爭に對しては協力してやつてるのだ。こんな切迫した情勢の中に吾々の前衛三・一五、中間、四・一六の犧牲者、日本共產黨の同志が去年の六月から、一年以上もの長い間ブルジョア裁判といかに闘つてきたか、俺達の前衛である黨の同志達はブルジョア公判廷を階級闘爭の一翼としてそこでファシスト、社會ファシスト共のギマンをテッテイ的にバクロし、奴等の云ふ共產黨の只のスローガンとしてではなく、勞働者農民の當然の要求として公然と表面化し闘ひ取られてる、と云ふ風に俺達の前衛はその過去に於けるところの豐富な經驗を現在の客觀的情勢にあてはめ。現在の實踐に役立つようにと努めてゐるのだ。

この我々の前衛の階級裁判に於いての闘爭に對し我々は全國勞働者農民全サークルから卽時無罪釋放を要求しなければならない。

投稿作曲の批評
作曲班

全體として同じ作者の前回のものよりは形がまとまつて來たし、構成の上からも進步だとも言へるが、矢張り旋律と歌詞の關係で非常に歌ひにくゝ、何となくしやちこばつてゐて肩のはつた感じがする。

あまり作曲といふことにばかり氣をとられて、そのために歌詞を充分に消化し自然にその詩を歌ひ上げると云ふ樣な氣分に向はないのではないかと思ふ。もつとすなほに素朴に詩の生命を歌ひ上げてほしい。詩がいゝ詩だとこのことは可なり樂に出來るが、これは根本的には歌曲を作る態度として曲としての構想ばかりに氣をとられることなく歌詞を最も必然的な表現で歌ふといふことが主眼にならなければならないのだと思ふ。

部分的には第十一小節から十三小節のゴタ〱した進行が歌詞の要求する處とまるで離れてしまつて歌の意味がわからなくなる處があるし、こゝでのシンコペーシヨンは何の必然性もない。また旋律が和聲的變化に乏しく、タイムの點からは隨分變つた進行をやつてるに拘らず一體に無氣力單調に陷ちて了つた。この事は、この歌が四部に作られてゐながら殆ど四部としての効果をあげてゐないといふことからも、作曲者――全般的に――の和聲に對する理解の必要さが充分に強調される理由になる。

尙、歌詞「生存の床を奪ひ行く」の曲の終止は何だか淋しくてぎごちない不安定さが感じられ、闘爭歌の終止法として感心しない。斯ういふ歌の場合、終止は特に確信を持つた強さと激發された憎しみとが強力に表現されねばならない。

簡單ながら以上の樣な批判の後に吾々の考へることは新しい作品に就ての批判討論と共にブルジョア音樂の豐富な遺產をもつと充分に偏見なく我々の肥料としての正しい評價の下に攝取しなければならないといふことだ。

具體的にはブルヂョア和聲學、對位法の冷靜な研究、彼等のレコード、樂譜の解剖批判、また實際に音樂そのものに多く接することにより耳を養ふ等々の方法がとられるだらう。一方吾々の建設的部面に於ては此の投稿欄が充分に活用され、プロレタリア音樂建設のための勞農大衆のヘゲモニー確立に方向づけられねばならないのだ。

全國の工場農村から諸君の作品をどし〱送れ！

★

★

★

勞農通信

俺達のサークルでも
音新防衛！
靜岡 通信員 河村雅雄

(1)おれ達のサークルはすでに二月を經、毎週一度づつの練習會をもつた。集まるものは、十名內外だ。「音新係」はモリモリ、音新の配布網を大きく擴げ、事務局からは「鐘が鳴れば」をプリントにして出し、其他おれ達の歌をどし〱出してゐる。亦すでに「サークルニュース」を二號まで出した。これはまだ「音新」ではサークルの連中にはとてもムズかしいのだ だから、サークルの機關誌として報告や啓蒙的なブルジュア音樂のバクロ、働く大衆の歌のみが、おれ達の歌だと、アジること、これらを載せてゐる。

(2)「音新」の四號に載つた栃木縣のサークル活動の經驗は實に貴重なおれ達がゼヒ共學ばなくてはならないものだ。ことに基本的な諸闘爭組織の線に辿つて――殊に組合の線にそつてその政治的經濟的闘爭組織とガッチリ結びついたことはおれ達が文化主義的なセクトに落入らうとする――ことに奴らの彈壓で、極度に弱められてゐる關係もあるが――おれ達のサークル活動にとつては學ばなくてはならないものだ。

(3)「音新」はまだムズかしい。この責任はおれ達にもあるが、「音新」がすべての音樂好きな勞働者農民に讀まれるためにはもつとやさしくかくことが必要だ。ことに「文學サークル」の如き「讀む」ことに習熟してゐる連中でなしに音樂好きなサークルメンバーは、歌つたり、ハーモニカを吹くことは、たやすいが文章を讀むといふことはみんな不得手な連中だ。この點ことに注意する必要がある。音新の大衆化はこの事なくしては絕對に出來ないのだ。ことに「音新」の四號は實にサンタンたる姿で「音新防衛」の檄と共におれ達に渡つたが。もつとわかるプリント刷りにしなくてはダメだ。技術的に巧くやつてくれ「音新防衛」はおれ達のサークルでモリモリその配布網の擴大と共にやつてゐる。

船內音樂サークルに就いて
海上通信員 壺田滋

一企業內に何かのサークルが一つ結成される事は、他のサークル結成を促進する。俺達の船には、最初演劇サークルが出來た。そして、その發展にはP・Mの歌曲が大きな力と成つて來てゐる。單調な生活の船內には、音樂はむさぼる樣に吸收されるが、その殆どは極端な反動から、プチブル的音樂に到る、一口に云つて敵側の音樂だ。斯うして演劇サークルの生長に伴はれてそのサークル員の個人的努力も伴ひ、漸次、音樂サークルとして獨立し得るものに立到つたのだ。

諸船を見る時、乘組員が蓄音器をもつてゐる船が澤山ある。但し、レコードは全部的に敵側の音樂に占領されてゐる。又、色んな樂器を持つてゐる乘組が澤山ゐるが、これもP・Mの音樂が普及してゐない現在。敵側のものに獨占されてゐる有樣だ。單に音樂好きであるといふ者をも獲得する事が「現在の時期」にあつての、俺達の急ムである。尤もそれは云ふ程容易な事ではないにしろ、放置する時は、敵側に大衆をかつ拂はれる許りである。（後略）

紙代完納と讀者獲得で音新を守る！
田川生

諸君の御努力を感謝致します吾々も第四號の着いた時は實に殘念に思ひました。だが、決して悲しみわ致しません。此れによつて今更乍ら財政の行詰りにもくつせず、第四號を發行された事は諸兄の一方ならぬ努力と全讀者は心から感謝する。と共に一日も早く紙代の完納と新讀者獲得に力を合せ、邁進する事を誓ひます。取あへず又半年分の紙代を送ります。其れから、御手數でも詩集赤い銃火を送つて下さい。又月にあまつただけ送るから、かまわず紙代の外は（音新三〇〇圓）基金にぶつ込んで下さい。吾々も仲々苦心して活動して居るのです。一日も早く完全なる第五號の發行を待つて居ります。

反戰歌曲集が出るぞ！

八・一の歌 屍を越えて
山男の歌 全部で十曲
葉書版袋入 一部十錢
送料二錢
直ぐに前金で申し込め！切手の場合は二割增

★「プロレタリア音樂」

同盟の機關紙が出る、詳細は次號、十月創刊の豫定